

MAGAZINE

2022.01.21

全社員フルリモート体制のワーケーションの先進企業・株式会社 CAMPFIREが体験した福岡ワーケーション

日本を代表するクラウドファンディング企業の株式会社CAMPFIREは、2020年2月から全社員がリモート勤務をしています。リモートワークが“当たり前”のCAMPFIREの皆さんは福岡でどのようなワーケーション滞在を過ごされたのでしょうか？これからワーケーションを考えたい企業の方にも示唆の多い体験レポートです。福岡でワーケーション中のCAMPFIREから照井さんと成相さんのお2人に、インタビュー形式でお話を伺いました。



- おふたりは、何度目の福岡なんですか？

照井さん：

年2-3回くらいは仕事で福岡へ来ています。そもそも福岡が好きですし、空港から近く、東京よりも落ち着いていることに加え、食べもの美味しいですね。

成相さん：

僕も年1回くらいは来てますね。こちらに友人も多いですし、仕事で来たら流れで延泊したり、中日に有休を取ったりするなど、これまででもワーケーション的な滞在はしていたと言えるかもしれません。

- 今回の滞在では、どのように過ごされたのですか？東京での働き方と、福岡でのワーケーション中の働き方では何か変化はありましたか？

照井さん：

初日は飛行機で到着後に市街地へ移動し、早速市内の coworkingスペース「+TAP 大名」で仕事をしています。夕方早めに切り上げてからは市内を観光したり、晩御飯には成相さんと「もつ鍋」を食べ

ついでに、このホテルのロビーには、自転車も置いてあり、観光客にも便利です。とても快適に過ごしたりしました。

翌日以降は、宿泊先だった「[西鉄ホテルクルーム博多](#)」で仕事をしていました。エントランスの環境が良く、とっても仕事がかどってお気に入りでした。ちょっと疲れたら館内に温泉もありましたし、周辺の駅前だったり街ナカを散歩したりしてリフレッシュしていました。



(照井さんが絶賛の「[西鉄ホテルクルーム博多](#)」エントランスロビーでのお仕事の様子)

基本はここでオンラインのミーティングも含め仕事することが多く、働き方としては、東京にいる際と特に変わりなかったですね。企画やアライアンス関連の仕事が僕の領域ですが、メールをチェックしたり、社内外の打ち合わせにオンラインで参加したり、くれぐれも情報管理には気をつけつつ、業務的には普段通りこなせたと思っています。いつもと違う環境だからこそ気分転換もできますし、パフォーマンスも上がったのでは？と感じています。

本当は[福岡市博物館](#)へも足を運びたかったのですが、仕事の予定なども重なり行けずじまいだったのが唯一の心残りです。公共系の施設は閉館も早いので要注意ですね（笑）。

成相さん：

僕は福岡近辺に友人が複数いるので、折角のワーケーションという事もあり、オフタイムに友人と会って食事をしたり満喫していました。実はこの後も、小倉の友人と会って夕ご飯を一緒に食べてきます（笑）。

仕事環境としては、初日は照井さんと同じくコワーキングスペースで仕事した他は、カフェやホテルの室内で仕事することが多かったですね。ホテルの部屋だけでなく、カフェやコワーキングスペースなどが沢山あるので、働く場所を選びやすい点は、福岡でワーケーション滞在をする魅力だと思っています。

- オフタイムで印象的だった場所やコトは何かありますか？

成相さん：

2日目の朝に思い立って、太宰府天満宮まで行ってみました。朝7時前にホテル前のバス停から気軽に行けたので良かったです。お参り後にはカフェで仕事をして、電車に乗って帰ってきました。

コンパクトシティなので全てが近接していますし、特に下調べは念入りにせず出掛けたのですが、福岡のいいところはアクセスしるワークスポットにしる「何とかなる」という安心と便利さがあることだと思います。思い立ったまま出かけたりしても大抵は大丈夫…という安心感は嬉しいですね。



(成相さんは仕事の合間を縫って太宰府まで足を伸ばした)

今回はオフシーズンでしたがPayPayドームも近いならプロ野球を観戦したり、時間さえあれば柳川方面まで足を運んだり、またゆっくり福岡でのワーケーションを考えたいとも思いました。

照井さん：

今回は [ANAのW@F公式旅行商品](#) を利用したのですが、その商品に付帯していたチケットを使って行った [福岡タワー](#) と夜景が素敵でしたよ。タワーの後に食べた「もつ鍋」も美味しかったです。僕は「水炊き」が一番でしたね。





(福岡タワー館内の様子と、タワーからの夜景)

成相さん：

食べもので言えば、僕は「とり皮」が印象的でしたね。地元の友人に地元グルメとして薦められて食べましたが、とても美味しかったです。

福岡の魅力はとにかく「アクセス」と「選択肢」だと思うんです。

日本の主要都市でNo.1と言っていい空港～市街地へのアクセスの便は、「次のバスの時間があるから〇〇できない」「あと〇分空き時間が出来てしまう」といった、地方にありがちな移動のストレスと無縁と言える環境じゃないでしょうか。

また、食べものも働く場所も、観光スポットにせよ「〇〇しか無い」ではなく、とにかく沢山ある選択肢の中から自由を選んで過ごせるという点は、福岡という都市型でワーケーションをする最大の魅力だと思っています。

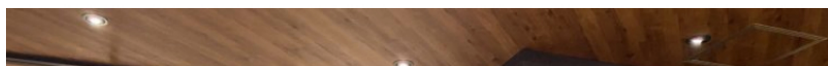
- CAMPFIREさんはリモートワークが大前提だったり、ワーケーションという働き方にも理解のある、言わば“先進企業”ですが、ワーケーションの価値はどの部分にあると思いますか？

照井さん：

僕個人としては、東京でずっと働いていても楽しくないんですよ。

地方に行って違う空気感を感じたり、仕事をしながら余暇や非日常を愉しんだりすることは、リフレッシュだけでなく生産効率にも寄与すると考えています。気分転換のみならず、良い発想の源泉になっています。

もちろん、それを後押ししてくれる会社の制度や、融通が利く部分についても感謝しています。





(ワーケーションをバックアップする空気づくりが大切と語る照井さん(左)と成相さん(右))

- ワーケーションに「興味を持っていてもなかなか踏み出せない」という声は、働く側からも企業からも依然聞こえてきます。CAMPFIREで働くお二人からみて、ワーケーションがより一般化するにはどんな後押しが必要になるとお考えですか？

照井さん：

働き方については、CAMPFIREはめちゃめちゃ融通が利きます。勤務時間はコアタイム以外の自由度は高いですし、どこで働いてもOKで「テレワークは家でないと駄目」といった規制もありません。「良いパフォーマンスが出せる環境が最優先」という前提が、企業側にも働く側にも先ず必要なのではないでしょうか。

そのうえで、フレックスや(宿泊やコワーキングなどの)補助ほか制度面も大切だと思います。有休のとりやすさも含めた安心感など、腰が重くなる理由は多い筈なので、会社として多様な働き方を“認める”だけでなく“バックアップする”組織風土があると、より良いですよ。

成相さん：

確かに「どこで働いているか」などを毎度説明することは大変ですし、そうした管理のされ方は働く側の気持ちとしてワーケーションの後押しには繋がりにくいかもしれませんね。

企業によっては情報セキュリティの観点からWi-Fiをどうするのかとか、ずっとカフェで仕事をする訳にはいかないでしょうから「どこで稼働すべきか」等、社内ですら準備は必要かもしれませんが、前向きにワーケーションの価値を捉える人が増えてくれたら嬉しいですよ。

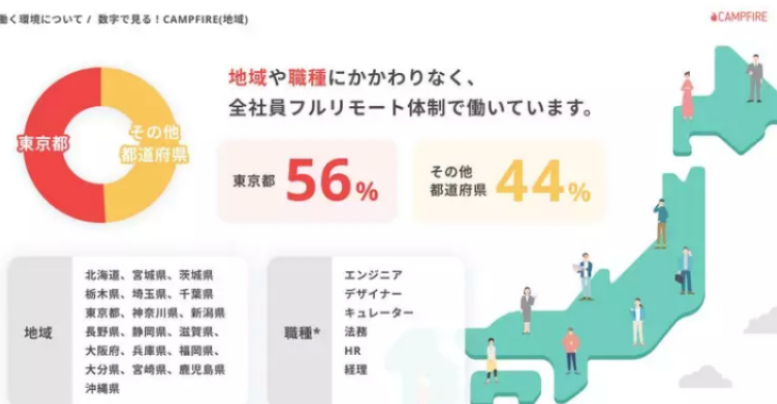
- さいごに、貴社と「働き方」について教えてください。

国内最大のクラウドファンディングサービスがCAMPFIREです。あらゆるファイナンスニーズに応えるべく、個人やクリエイター、企業、NPO、大学、地方自治体など、様々な挑戦を後押ししてきました。

プロジェクトオーナーはCAMPFIRE にプロジェクトを掲載することで、支援という形で資金を集めることができ、支援者はプロジェクトへ支援することで、モノや体験などのリターンを得ることができます。

当社では2020年2月から全社員がリモート勤務となりました。すでに全社員のうち44%のメンバーが東京都以外の場所からリモート勤務しています。もちろん副業もOKとなっています。

4 働く環境について / 数字で見ると CAMPFIRE(地域)



参考：

[CAMPFIREのフルリモート勤務で人生の自由度があがった話](#)
[部長がいきなり沖縄移住！？コロナ渦における経理財務チームのフルリモート化への道](#)

企業WEBサイト

<https://camp-fire.jp/>

- 参加した旅行商品 (W@F公式旅行商品)

「ANAワーケーション福岡」

ビジネス環境の良さや、都市機能と自然が近接したコンパクトシティの魅力を体感するワーケーション商品。ANAのAirとホテルを豊富な選択肢から選ぶことが出来ます。もちろん、マイルも溜まります！この機会に是非一度ご体感ください。



福岡でワーケーションしてみませんか？

W@F (ワフ) に掲載中のツアーでは、宿泊日数に応じ、1泊あたり5,000円が助成されています。(3泊以上のツアーに適用。団体利用は最大5人まで、1人上限10泊まで) 掲載されているのは全て、ワークとバケーションのコンテンツが含まれた3泊4日以上ツアーです。

希望される方には、市内企業等とのビジネスマッチングの機会を無料で提供します。

→[ビジネスマッチングご希望の方はこちら](#)

また、福岡市内等の公共交通機関が1日乗り放題となるワーケーション周遊バスを提供しています。

→[ワーケーション周遊バスはこちら](#)



W@Fのツアーは[こちら](#)から



RECOMMEND

[関連記事はこちら](#)



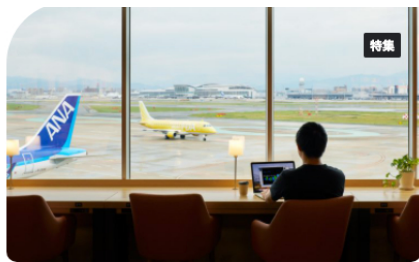
体験記事



キャンプ場でチームビルディングとテントサウナ - 株式会社MOLEが体験した福岡ワーケーション

「Workations」を運営する、東京の株式会社MOLEに福岡でのワーケーション体験についてのインタビューを実施しました。

MAGAZINE



特集

福岡空港内でお勧めのテレワークスポットをご紹介します

空港から地下鉄で10-15分で天神や博多などの中心部へアクセス可能なコンパクトさが福岡の魅力ですが、ご到着後や出発前など、どうしても時間が無いので福岡空港で仕事をしたい！・・・というアナタへお勧めのテレワークスポットを、ご紹介します！

MAGAZINE



特集

こんどの連休は、福岡への里帰りワーケーションで、長めの帰省しませんか？

連休を利用して、ひさびさの帰省をお考えの方も多いのでは？ご親族のお宅泊と市内のホテル泊を上手に組み合わせ、福岡型ワーケーションを活用して「ちょっと長めの里帰り」を実現してみませんか？お得な活用アイデアをご紹介します！

MAGAZINE



体験記事



ワーケーションの効果を実感 - 株式会社Reviewが体験した福岡ワーケーション

インターネットでは探せない、検索できない、まとめられない、そんなリアルな情報を集約した今までになかったプラットフォーム「macci」を運営する、大阪の株式会社Reviewに福岡でのワーケーション体験についてのインタビューを実施しました。

MAGAZINE



特集

福岡での試合観戦&リモートワーク・出張を組み合わせたワーケーションなんて、いかがですか？

ご昇進チームのアウェー（ビジター）ゲームの応援がてら、出張や福岡市内でのテレワークを組み合わせ、上手にワーケーションしてみませんか？例えば、3泊以上を指定ツアーでご利用いただくと、5,000円/泊の助成がきます！プロ野球、Jリーグ、Bリーグなどの試合観戦と合わせたワーケーションにTRYしてみたい方に、お勧めの過ごし方をご紹介します！

MAGAZINE



特集

保険は？人事制度は？——ワーケーション導入検討企業が聞きたい制度面を応援してくれるサポートサービ...

福岡でのワーケーションに興味を持ったけれど、万が一の際の保険や人事制度が不安...といった声は、よく耳にします。個人であっても企業であっても、安心してワーケーションを利用するために、在福岡のサポートサービスについてご案内します。

MAGAZINE

福岡に関する情報



ワーケーションに関する情報



TOP > マガジン > マガジン > 体験記事 > 全社員フルリモート体制のワーケーションの先進企業・株式会社CAMPFIREが体験した福岡ワーケーション

W@F

【公式】福岡市のワーケーションポータルサイト W@F (ワフ)

ABOUT

ワフについて

MAGAZINE

特集記事

WorkationMAP

福岡ワーケーションマップ

DIAGNOSIS

ワフ診断

ワーケーションパートナー募集について

企業立地に関するご案内

お問い合わせ

利用規約

プライバシーポリシー

STAY

ワーケーションする際にオススメ宿泊プランを紹介

WORK

快適なワーク環境やビジネスマッチング、ビジネスイベント等の新たなビジネスに繋がるコンテンツを紹介

VACATION

食やアウトドア・体験、観光・文化施設等、充実した余暇を過ごすためのコンテンツを紹介

